



京号は、市特産の玉露を使ったごま風味蒸しまんじゅうを紹介し、京田辺玉露は、農林水産大臣賞を何度も受賞し、高級宇治茶の代名詞といわれています。お茶の栄養を摂取するには、お茶の葉を丸ごと食べるのが一番。玉露の風味と栄養がたっぷりの蒸しまんじゅうです。問合せ先＝健康推進課（☎64-1335）

材料(4個分)

玉露	5g
小豆あん	80g
小麦粉	大さじ4
ベーキングパウダー	小さじ1
長芋	40g
すりごま	大さじ1と1/3
サラダ油	大さじ1
砂糖	大さじ1と1/3
アルミカップ	4枚

【作り方】

- 玉露を100ccの水に20分浸す。ざるに上げて水気をしぼり、茶葉を細かく刻む。
- 小豆あんを4等分し、丸める。
- 小麦粉とベーキングパウダーを合わせてふる。
- 長芋は皮をむいてすりおろし、泡立て器でふんわりするまで泡立てる。
- ①に①の茶葉とすりごま・サラダ油・砂糖を入れよく混ぜ、③を加えてさらに混ぜ合わせる。
- アルミカップに1個分の生地を半量を入れ入れ、小豆あんをのせ、残り半量を入れて包む。
- 蒸気の上があった蒸し器に並べ、ふきんを掛けて強火で10分蒸す。
- 竹串を刺して、何も付かなければできあがり。

調理のコツ

- ★生地をアルミカップに入れるとき、スプーン2本を使うと入れやすいです。
- ★アルミカップに入れてから、ぬらした手で形を整えると、きれいにできあがります。
- ★最後に小豆あんを飾るとアクセントになります。

栄養価(1個分)

エネルギー	たんぱく質	カルシウム	塩分	脂肪
67kcal	4.4g	57mg	0g	4.0g

健康レシピがもっと身近に!

レシピサイト「クックパッド (http://cookpad.com)」にも掲載しています。「京田辺市 玉露」で検索してください。

6月 食育月間 食生活を見直すきっかけに

内閣府は、6月を「食育月間」に、毎月19日を「食育の日」としています。「食育」とは、さまざまな経験を通じ、食の知識や選び方を習得し、健全な食生活を実践できる力を育むことです。子どもの頃から食事に関心を持ち楽しく食べ

ることは、体と心の成長に良い影響を及ぼすだけでなく、将来の健全で豊かな食生活につながります。毎日をいきいきと過ごすために、食生活を見直してみませんか。問合せ先＝健康推進課（☎64-1335）

健康への第一歩・いきいきと過ごすための食事

バランスの良い食事を取る	よくかんで、味わって食べる	適量の食事を残さずに食べる	旬の食材を使って料理をする
1日3食きちんと取り、生活リズムを整える	感謝の気持ちを込めて「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする		家族・友人と楽しく食卓を囲む

食育について知ろう 6月9日から展示

期間 6月9日(金)～19日(月)
場所 市役所2階市民ロビー

高齢期の食の講座

市は、高齢期の食に関する講座の参加者を募集します。食生活を振り返り、食事の取り方について考えてみませんか。日にち＝6月28日(水)、7月12日(水)、26日(水)、8月9日(水) (全4回) 時間＝午前10時～11時30分 場所＝社会福祉センター 対象＝市内に在住する60歳以上で、すべての回に参加でき、介護・支援の認定を受けていない人 定員＝15人 多数の場合は抽選します。 申込方法＝6月14日(水)午後5時までに電話で申し込んでください 申込・問合せ先＝高齢介護課（☎64-1373）

いつまでも健康でいきいきと! 地域交流スペース「オレンジルーム」

オレンジルームは、高齢者が自由に交流できるスペースです。さまざまな催しも行っていますので、お気軽にお越しください。 開放日時＝毎週月～金曜日（祝日・年末年始を除く）。午後1時～4時

場所 オレンジルーム (いきいきサポートセンター内)
対象 市内在住の60歳以上

- 【元気いきいき体操】 日にち＝毎週月・金曜日 時間＝午後1時30分～2時 内容＝市オリジナルの元気いきいき体操でリフレッシュ
- 【スマイルカフェ】 日にち＝毎週月曜日 時間＝午後2時～3時 内容＝コーヒーを飲みながら交流
- 【脳トレの会】 日にち＝第1・3水曜日 時間＝午後1時30分～3時 内容＝頭を使った遊び
- 【手遊びの会】 日にち＝毎週金曜日 時間＝午後2時～3時 内容＝トランプ・手芸など
- 【問合せ先】 高齢介護課（☎64-1373）

- 【将棋の会】 日にち＝毎週水曜日 時間＝午前9時30分～正午
- 【写経の会】 日にち＝第1火曜日 時間＝午後1時30分～3時30分
- 【源氏物語を楽しむ会】 日にち＝第2火曜日 時間＝午後1時30分～3時30分 内容＝源氏物語の原文を読みます
- 【問合せ先】 シルバー人材センター（いきいきサポートセンター内、☎64-8822）



【提出・問合せ先】 子育て支援課（☎64-1377）

高校生給付型奨学金 申請を受け付け 府は、高等学校などの修学を支援するため、奨学金などを支給する制度を設けています。対象世帯は市市民税非課税の母子・父子世帯（20歳以上65歳未満の同居者がいる世帯を除く）、児童世帯、障がい者世帯、長期療養者世帯

【6月期分を振り込み】 児童手当・特例給付を受給している人には、6月期分（2ヶ月分）を6月9日(金)～16日(金)に振り込みます（公務員を除く）

児童手当・特例給付 市は、児童手当を受給している人に「児童手当・特例給付現況届」を郵送します。同届は、毎年6月1日現在の状況を把握し、児童手当などの受給要件を満たしているかどうかを確認するための書類です。期限内に提出しないと、10月期分（6～9月分）以降の児童手当などを受給できなくなる可能性がありますので、早めに提出してください。

就職フェア FUKUSHI 日にち＝6月17日(土) 時間＝正午～午後5時 場所＝京都市勧業館(みやこめっせ) 対象＝平成30年3月に卒業見込みの人、一般求職者 内容＝福祉関連の合同就職説明会（きょうと福祉人材育成認定制度）の上位認定事業所、認定事業所・宣言事業所が約140法人出展します 問合せ先＝福祉職場就職フェア実行委員会（京都府社会福祉協議会内、☎075-2522-6297）

ヘルシールランチと つぼ整体 日にち＝6月26日(月) 時間＝午後0時30分～3時 場所＝社会福祉センター 内容＝薬膳餃子ランチを食べ、腰痛を改善するツボ整体をします 定員＝先着15人 費用＝1千円 申込方法＝電話・FAXで申し込んでください 申込・問合せ先＝健康つぼ愛好会・佐藤（☎63・2055）

【聴くこと相談会】 日にち＝7月8日(土) 時間＝午後1時30分～4時30分 場所＝中部住民センター 対象＝市内に在住する人

【障がいのある人の相談会】 日にち＝6月29日(水) 時間＝午後2時～4時 場所＝社会福祉センター 問合せ先＝障害福祉課（☎64-1372）

【ひだまりの会】 日にち＝6月27日(水) 時間＝午後1時30分～3時30分 場所＝府立洛南寮 対象＝市内に在住する高齢者 内容＝バンド演奏・体操・クイズ

【定期接種】 対象＝本市に住み登録があり、23価肺炎球菌ワクチン接種しなかった次の人 接種費用をいったん全額支払った後、市から還付となる場合があります。 申込期限＝平成30年3月22日 接種期限＝平成30年3月31日

【定期接種対象外の人は】 定期接種の対象外で接種を希望する人は、次の助成制度を利用できます。 対象＝任意接種となり、重い副反応などがあつた場合に、予防接種法に基づく救済を受けることができます。

【治療費を助成】 市は、不妊・不育症の治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成します。 対象＝次のすべてに該当する夫婦 1. 市内に1年以上在住し、本市に住み登録している間に治療を受けた 2. 各種健康保険に加入している

【対象治療・助成額】 一般不妊治療（保険治療・人工授精）＝自己負担額の2分の1 1年度につき上限6万円。人工授精を含む場合は上限10万円。

体外受精・顕微授精・男性不妊治療には、府の助成制度があります。 不育治療（原因検査・保険適用治療）＝自己負担額の3分の2 1回の妊娠につき上限20万円。

【申請期限】 診療日の翌日から1年以内 申請・問合せ先 子育て支援課（☎64-1377）

【申込・問合せ先】 健康推進課（☎64-1335）



生活保護世帯を除きます。 申請方法＝子育て支援課にある申請書提出用キットを使い、しめきり7月3日(月) 申請先＝子育て支援課（☎64-1376） 問合せ先＝山城北保健所総務分室（☎63-5745）

内容＝聞こえについての学習・懇談会、聴力測定・補聴器相談 定員＝聴力測定・補聴器相談は各先着4人（1人各30分） 申込方法＝聴力測定・補聴器相談を希望する人は、6月29日(木)以降に電話・FAXで障害福祉課（☎64-1372、FAX63-5777）へ申し込んでください

【定期接種】 対象＝本市に住み登録があり、23価肺炎球菌ワクチン接種しなかった次の人 接種費用をいったん全額支払った後、市から還付となる場合があります。 申込期限＝平成30年3月22日 接種期限＝平成30年3月31日

【治療費を助成】 市は、不妊・不育症の治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成します。 対象＝次のすべてに該当する夫婦 1. 市内に1年以上在住し、本市に住み登録している間に治療を受けた 2. 各種健康保険に加入している

【対象治療・助成額】 一般不妊治療（保険治療・人工授精）＝自己負担額の2分の1 1年度につき上限6万円。人工授精を含む場合は上限10万円。

体外受精・顕微授精・男性不妊治療には、府の助成制度があります。 不育治療（原因検査・保険適用治療）＝自己負担額の3分の2 1回の妊娠につき上限20万円。

【申請期限】 診療日の翌日から1年以内 申請・問合せ先 子育て支援課（☎64-1377）

【申込・問合せ先】 健康推進課（☎64-1335）